



2014年12月期

---

# 決算説明会

2015年2月18日

SBSホールディングス株式会社



---

# も く じ

- **2014年度決算概要及び  
2015年度数値計画について**
- **2015年度グループ経営について**

# 2014年度決算概要 及び 2015年度数値計画について

SBSホールディングス株式会社  
執行役員 山下 泰博

# 14年12月期 連結業績(前期比較)

2

(単位:百万円)

	13年12月期		14年12月期			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	前期比
売上高	132,205	100%	141,535	100%	9,330	+7.1%
営業利益	4,141	3.1%	4,123	2.9%	△17	△0.4%
経常利益	3,801	2.9%	3,672	2.6%	△129	△3.4%
当期純利益	1,571	1.2%	2,750	1.9%	1,178	+75.0%

# 14年12月期 連結業績(計画比較)

3

(単位:百万円)

	14年12月期					
	計画値	構成比	実績値	構成比	差異額	達成率
売上高	137,000	100%	141,535	100%	4,535	103.3%
営業利益	4,800	2.4%	4,123	2.9%	△677	85.9%
経常利益	4,400	2.1%	3,672	2.6%	△728	83.5%
当期純利益	3,500	0.9%	2,750	1.9%	△750	78.6%

# セグメント別業績(前期比較)

## 2014年12月期実績

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	129,884	5,103	6,548	—	141,535
前期比	+7.5%	△8.1%	+11.6%	—	+7.1%
営業利益	1,624	2,359	344	△204	4,123
前期比	+33.2%	△7.5%	70.4%	—	△0.4%
営業利益率	1.3%	46.2%	5.3%	—	2.9%

## 参考:2013年12月期実績

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	120,786	5,554	5,865	—	132,205
前期比	+1.2%	+121.8%	△3.9%	—	+3.3%
営業利益	1,219	2,550	202	169	4,141
前期比	△29.5%	+111.3%	351.0%	—	+42.7%
営業利益率	1.0%	45.9%	3.4%	—	3.1%

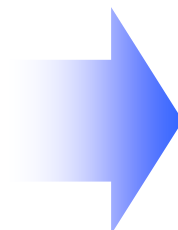
※当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。

# 連結貸借対照表の推移

2013年期末

単位:億円

2014年期末



総資産 1,083

+227

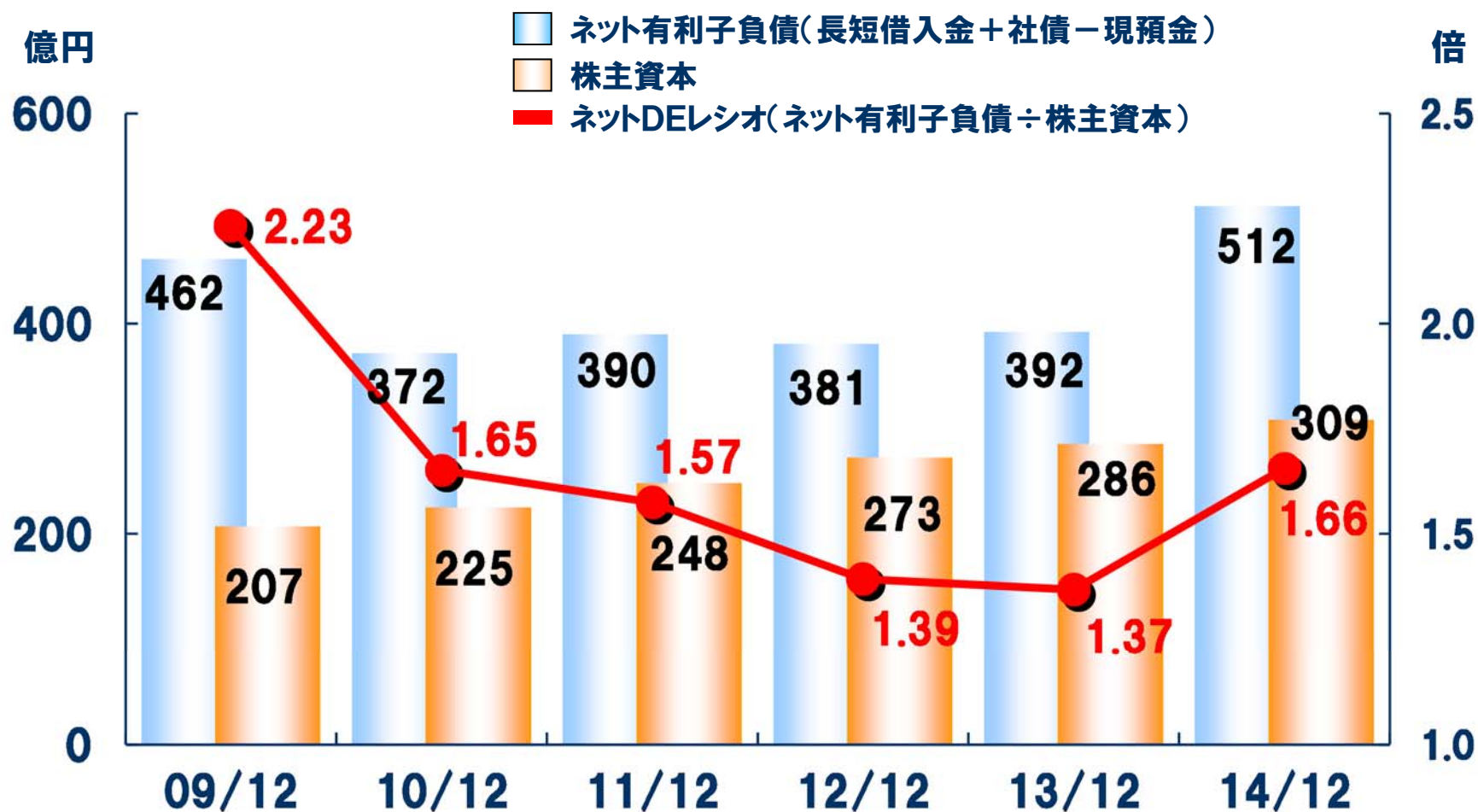
総資産 1,311

自己資本比率 26.7%

自己資本比率は  
2.3ポイント下降

自己資本比率 24.4%

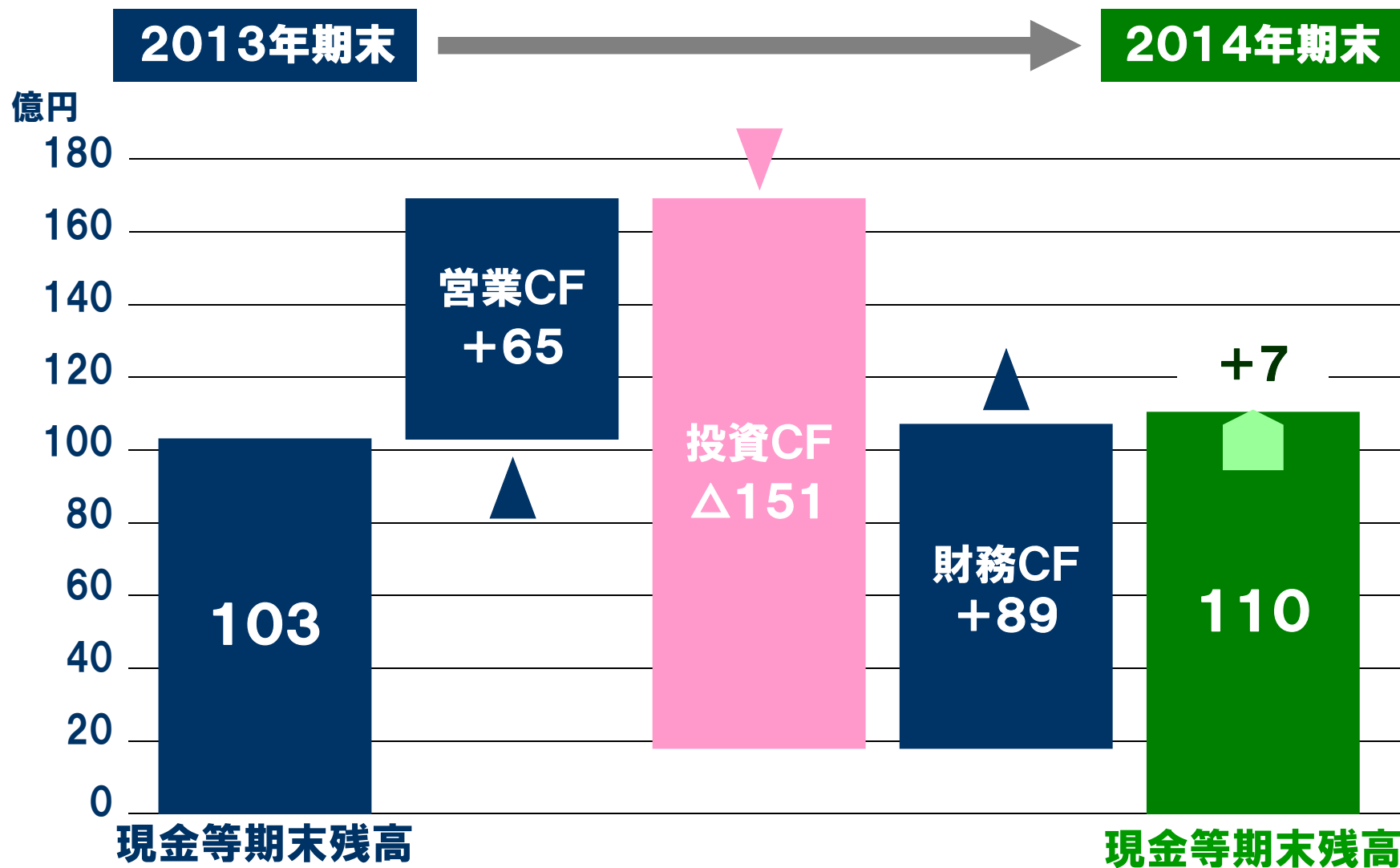
## 有利子負債幅の管理と株主資本充実





# 連結キャッシュ・フローの概要

7



# 15年12月期 連結業績予想

8

(単位:百万円)

	14年12月期		15年12月期			
	実績値	構成比	予想値	構成比	増減額	前期比
売上高	141,535	100%	165,000	100%	23,465	+16.6%
営業利益	4,123	2.9%	5,500	3.3%	1,377	+33.4%
経常利益	3,672	2.6%	4,900	3.0%	1,228	+33.4%
当期純利益	2,750	1.9%	3,800	2.3%	1,050	+38.2%

# 15年12月期 セグメント別業績予想

9

## 2015年12月期予想

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	150,000	8,300	6,700	—	165,000
前期比	+15.5%	+62.6%	+2.3%	—	+16.6%
営業利益	2,100	3,000	400	0	5,500
前期比	+29.3%	+27.2%	+16.3%	—	+33.4%
営業利益率	1.4%	36.1%	6.0%	—	3.3%

## 参考:2014年12月期実績

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	129,884	5,103	6,548	—	141,535
前期比	+7.5%	△8.1%	+11.6%	—	+7.1%
営業利益	1,624	2,359	344	△204	4,123
前期比	+33.2%	△7.5%	70.4%	—	△0.4%
営業利益率	1.3%	46.2%	5.3%	—	2.9%

※当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。

# 2015年度グループ経営について

SBSホールディングス株式会社  
代表取締役社長 鎌田 正彦

## ■ 物流事業

- 新規受注、新規顧客・業務の拡大
- TranspoleをM & A
- タイに初の自社倉庫を開設



SBSとTranspoleの  
ジョイントミーティング

## ■ 不動産事業

- 私募ファンドへの流動化を実施
- 大阪・南港に施設用地を取得
- 横浜・杉田でセンター建設に着工



横浜・杉田物流センター完成予想図

## ■ その他事業

- 人材事業が堅調に推移
- 太陽光発電事業を拡大



千葉・芝山第2太陽光発電所

## 稼働実績

- 大手食肉加工様(専用センター開設、関東圏をカバー)
- 関西大手百貨店グループ様(食品宅配物流センター運営)
- 関東大手百貨店様(食品通信販売向けセンター運営)
- 眼鏡レンズメーカー(眼鏡レンズ共同センター化を促進)

(単位:億円)

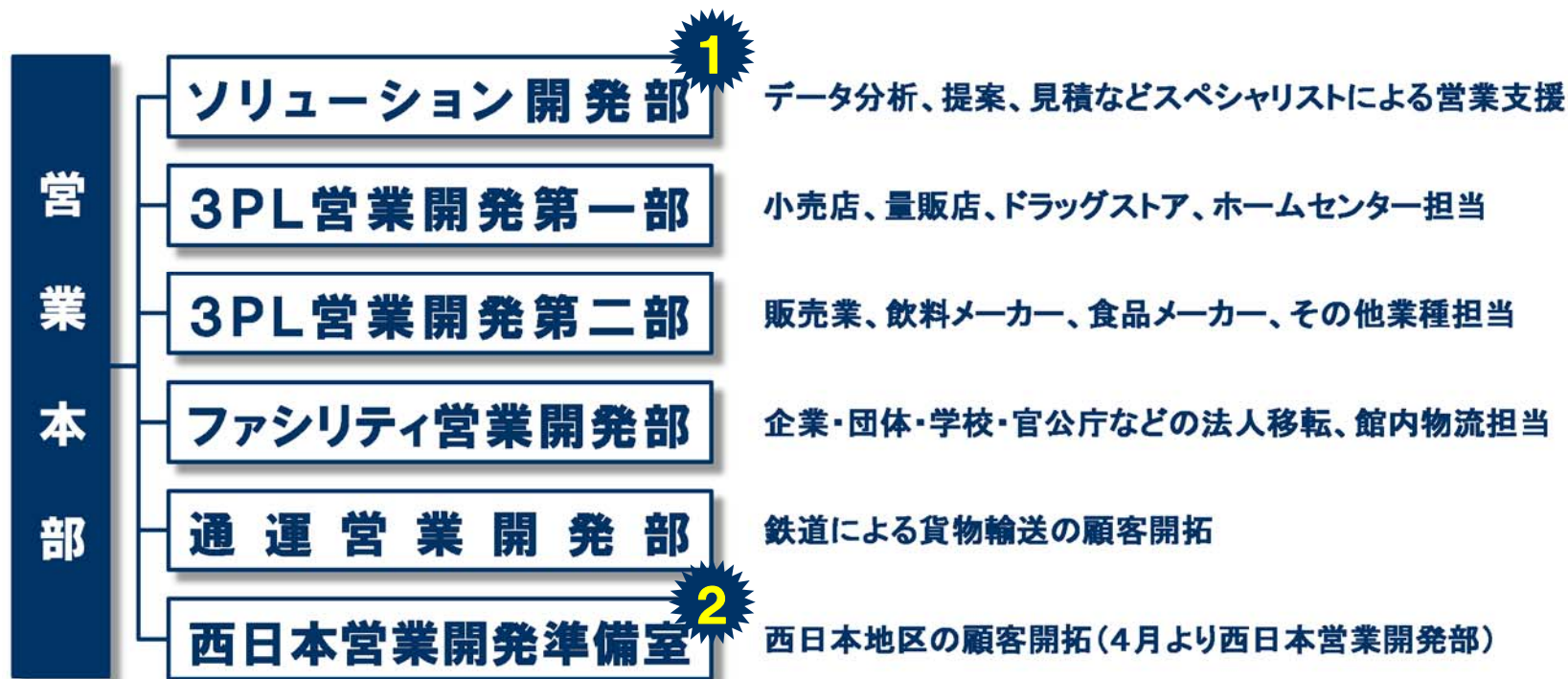
3PL事業	2013年度	2014年度	2015年度 計画
売上高 前期比	461 +4.1%	485 +5.2%	511 +5.4%

## 受注実績

- ドラッグストア(鳥取、徳島、兵庫で物流センター運営)
- 大手スーパー(1万坪規模の物流センター運営)

## 2015年、SBSロジコムの営業組織を一新

⇒3部体制から6部体制へ、新規顧客の獲得と既存顧客の深耕を図る

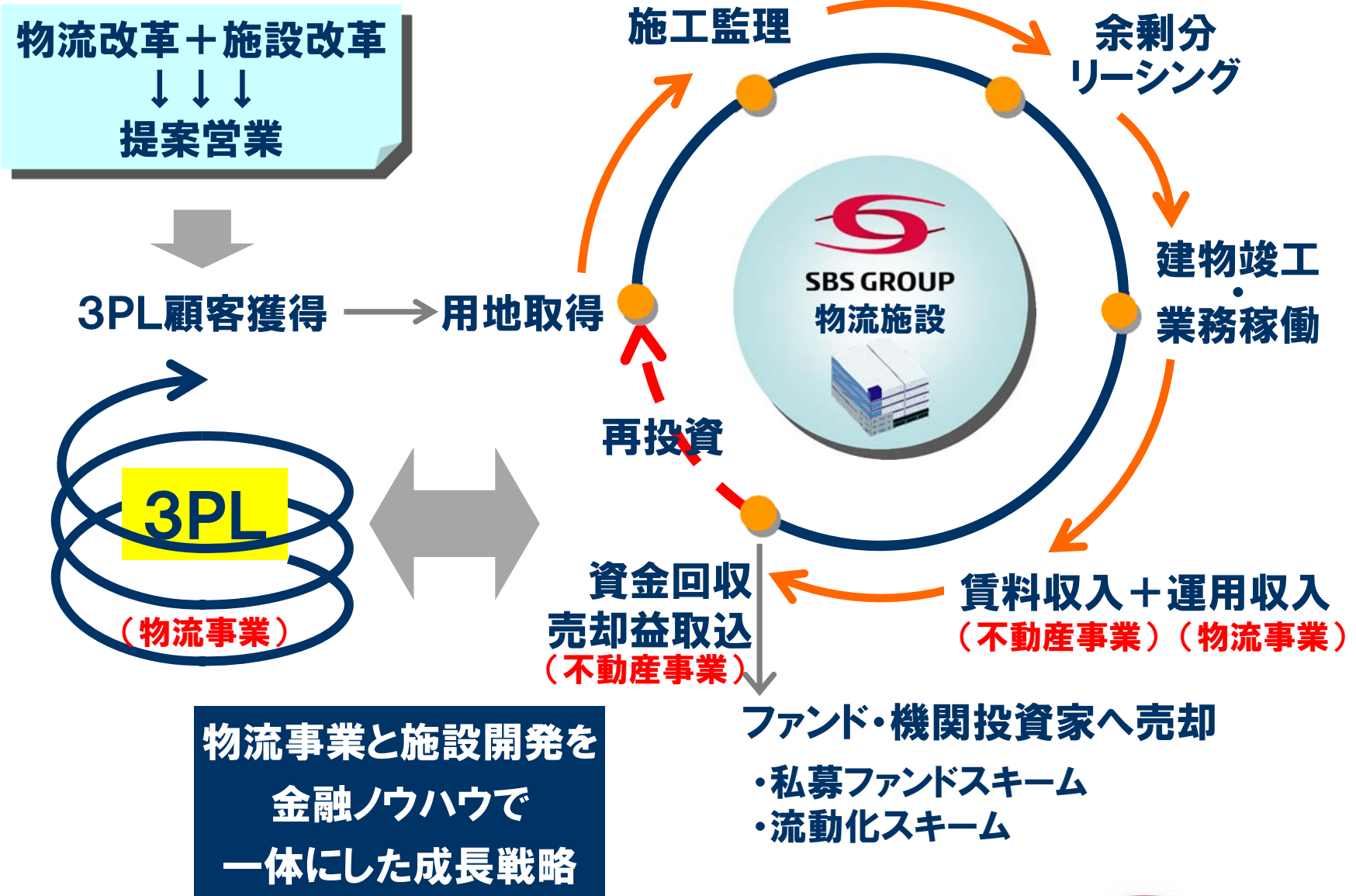


**1** 提案ノウハウを集結した専門部隊。組織の力で提案を強化

**2** 大阪市内に営業拠点設置。顧客開拓、サポートを充実

# 物流と金融の融合ビジネスモデル

14





# 物流施設開発パイプラインの進捗



<竣工予定年度>

# 物流施設開発～流動化の状況



## ■過去3年間の推移と今年度計画

(単位:百万円)

不動産事業	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度 計画
<b>売上高</b>	<b>2,504</b>	<b>5,554</b>	<b>5,103</b>	<b>8,300</b>
前期比	+104.7%	+221.8%	+91.9%	+162.6%
賃貸事業	2,504	2,672	2,285	2,600
開発事業	0	2,881	2,818	5,700
<b>営業利益</b>	<b>1,206</b>	<b>2,550</b>	<b>2,359</b>	<b>3,000</b>
前期比	+109.5%	+211.4%	+92.5%	+127.2%
賃貸事業	1,206	1,358	1,119	1,400
開発事業	0	1,191	1,240	1,600

※賃貸事業:保有する物流施設、オフィスビル、レジデンス等を賃貸する事業。

※開発事業:開発した物流施設をファンドや機関投資家に売却(流動化)する事業。

# 長津田物流センターが稼働開始

18

## ■大手飲料メーカー様が業務を開始



北西側上空より。右下は国道246号線  
屋根には太陽光パネルを全面に設置

北側からトラックバースの夜景



# 千葉に9千坪の物流スペースを確保

19

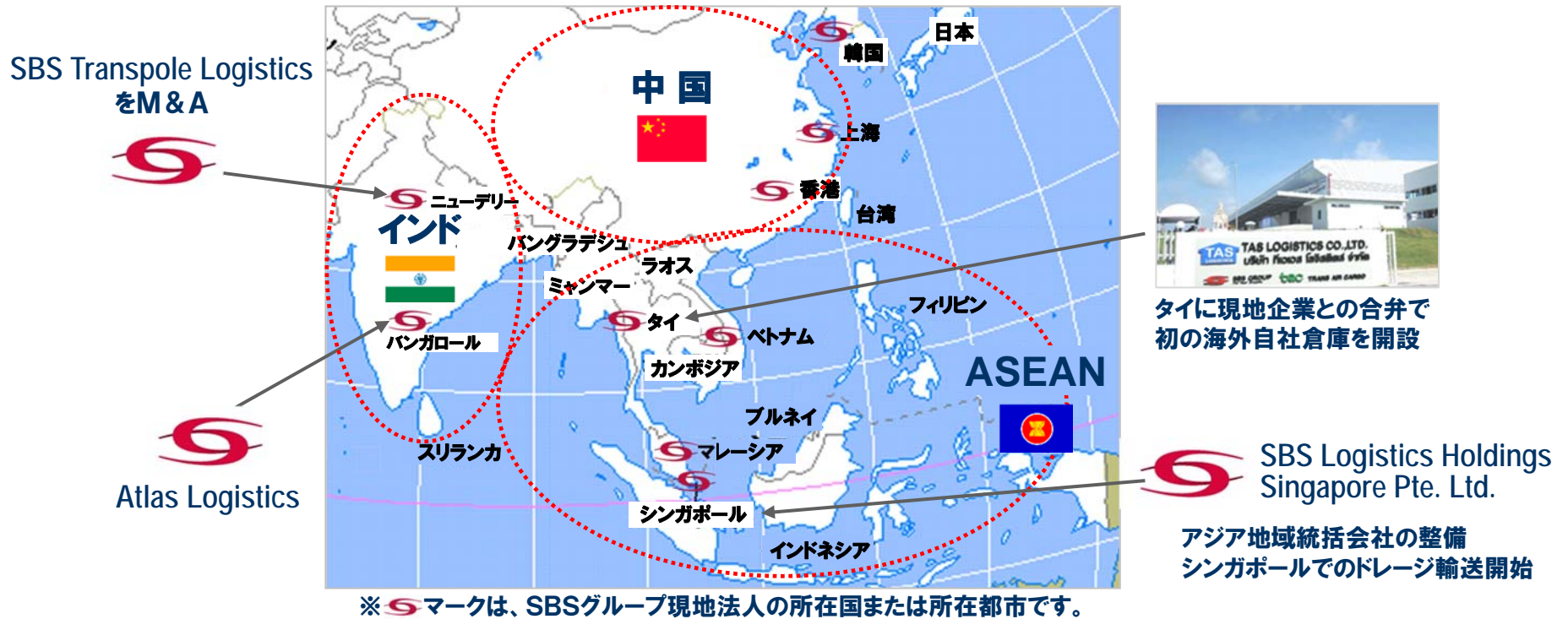
- グッドマン開発のマルチテナント物流施設に進出
- 最適なサービスのために他社開発施設も積極利用
- 小売業(リアル・ネット)向け物流に活用検討中



作業や保管の効率を高める広いワンフロア 優れた交通アクセス、労働力確保に有利

■2016年2Qから使用開始予定

# 海外戦略の進捗



(単位:億円)

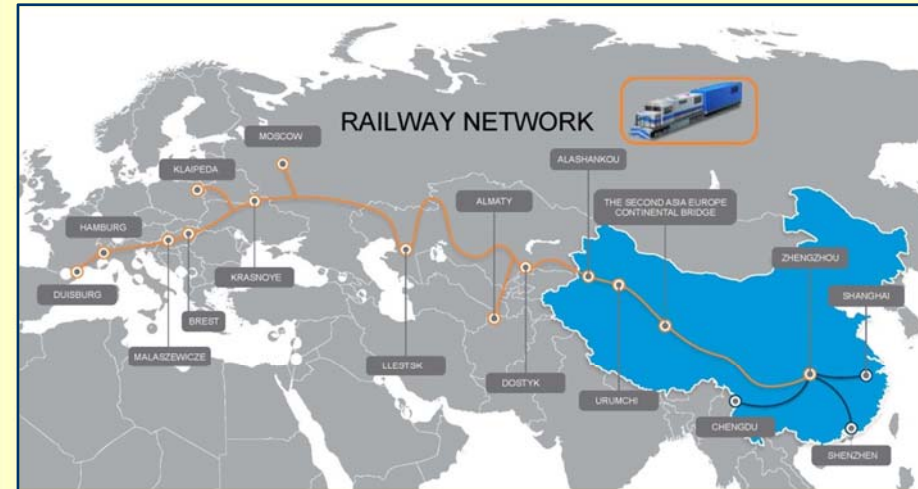
国際物流	2013年度	2014年度	2015年度 計画
売上高	65	113	290
前期比	+125.4%	+175.3%	+257.0%
うち海外売上	33	75	250
前期比	+101.7%	+231.3%	+331.8%

※海外売上=連結対象現地法人売上、国際物流=海外売上+日本での国際物流関連売上

## 重点戦略

- 中国での4拠点整備
- トレードラインの拡大
  - インドー中国
  - 中国ー欧州
  - インドーASEAN
- キークライアント
  - SAMSUNG、HCL、LG、Micromax、Roca、Honda、CASIO、TOYOTA…

※PMI(Post Merger Integration):M&A後の統合プロセス



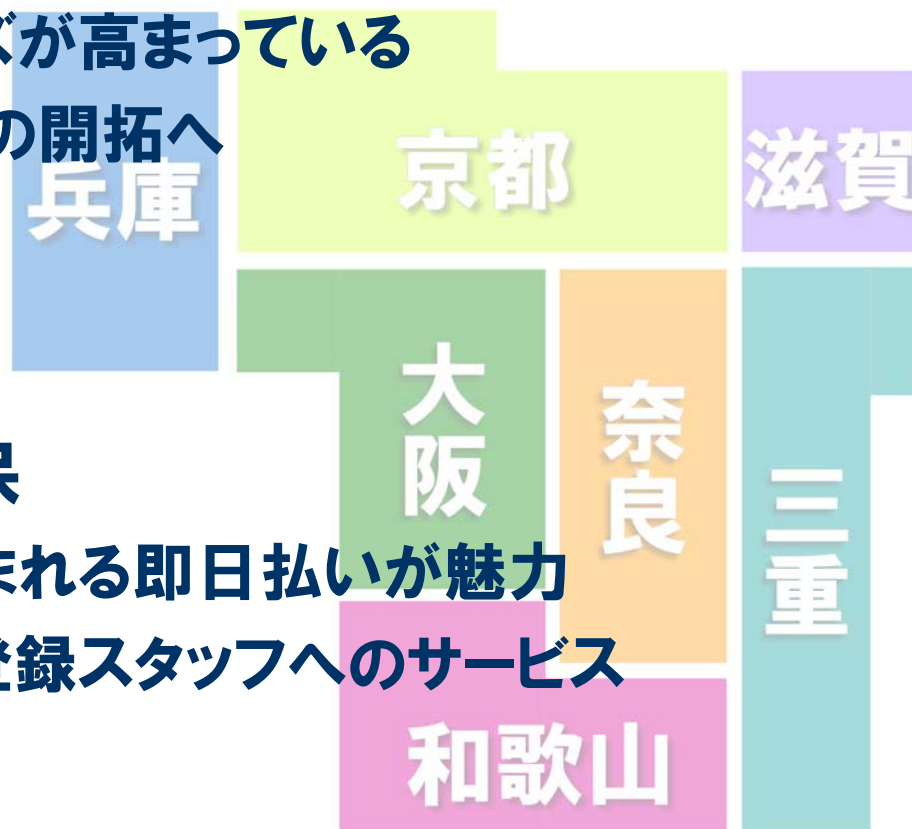
SBS Transpoleは、空路、海路に加え、鉄道を活用できるフォワーダー。欧州と中国を結ぶ鉄道輸送網は、ロシアや中央アジアを經由し、フルーツから自動車部品まで、週4便の輸送が可能。

## 連結処理(SBS Transpoleは3月決算)

- M & A費用を経費処理、会計基準の日本適合対応
- 現在、15/3期着地と16/3期計画を精査中
- 2015年から年間でグループ業績に寄与

## ■ 梅田営業所を開設(2月)

- 幅広い業種で人手不足感強まる
- 関西でも人材派遣ニーズが高まっている
- 関東一極から関西市場の開拓へ



## ■ 即日払いでスタッフ確保

- 勤務日に給料が振り込まれる即日払いが魅力
- 大手が実施していない登録スタッフへのサービス



# 太陽光発電事業の状況

- 資産有効活用とクリーンエネルギー供給を進める
- 稼働施設は11か所に拡大
- 2015年度末、総発電能力は「8.1メガワット」へ

施設名称	稼働年月	発電能力 (kw)
1 野田吉春物流センター	2013/03	514
2 千曲物流センター	2013/07	604
3 芝山太陽光発電所	2013/08	2,826
4 川越物流センター	2013/08	830
5 西日本ロジスティクス物流センター	2014/03	617
6 芝山第2太陽光発電所	2014/09	710
7 SBSロジコム君津支店	2014/10	268
8 SBSロジコム吉川支店	2014/10	223
9 SBSロジコム高崎営業所	2014/10	161
10 SBSフレイトサービス小田原支店	2014/12	210
11 長津田物流センター	2015/02	935
稼働済		7,898
12 豊橋物流センター	今期中	221
2015年度末予定		8,119



SBSフレイトサービス小田原支店  
富士山を望む屋上の太陽光設備

## ■ 運送専業会社の設立

- SBSロジコムの子会社として2社を設立
  - SBSロジコム北関東(株)、SBSロジコム南関東(株)
- ドライバーを正社員で確保
- 待遇の改善、教育の充実
- 転勤が伴わない地域限定
- 5月業務開始予定



※新会社のウェブサイトデザイン案(3月開設予定)

## ■ 自社車両比率の向上

- 約3000台の自社車両、月間約5000台の傭車車両
- 自車:傭車=4:6を、6:4に自車比率を引き上げていく

■ 名 称 : SBS Growth 2017

■ 期 間 : 2014年から2017年までの4年間

■ めざす姿

創立30周年に向けて、

“全方位の物流機能を有する3PL企業集団”を結成し、

業界トップグループ入りを果たす

■ 数値目標

売 上 高	2000億円
営 業 利 益	80億円
営業利益率	4%以上
自己資本比率	30%以上

■ 成長ドライバーは、3PL、アジア、施設開発、そして、M&A

# ■ 中期経営計画の進捗



